

2018年10月28日(日)



アニメキャラクターやゾンビ姿で壇上に並ぶコスプレ衣装コンテストの入賞者
(井上浩明撮影)

ハロウィーン なりきって笑顔

札幌中心部でコンテスト

ハロウィーン直前の27日、札幌市中心部は魔女やアニメのキャラクターなど仮装姿の人であふれ、中央区の札幌2・5プラザ(南2西5)では「コスプレ衣装コンテスト」が開かれた。

コンテストは「番街商店街振興組合」が主催し4回目。自慢の衣装をまとった約500人が参加した。組合やさっぽろ地下街など4団体がそれぞれ賞を設け、独創性や完成度を審査した。

大通地区の商業施設による「I LOVE OODORI賞」を受けた米岡出身の幼稚園教諭プラウネル・イアンさん(38)の一家4人は、ヒーロー家族の活躍と絆を描く人気外国アニメのキャラクターに変身。イアンさんは「受賞はとてうれしい。ハロウィーンは子どもたちと一緒に楽しめる」と笑顔で話した。

組合は昼と夜の2回、中心部を仮装して練り歩く「ハロウィーン大通大行進」を行う予定だったが大雨の影響で昼の部は中止に。夜の部は予定通り実施し、過去最多の約2千人が夜空の下で仮装を楽しんだ。
(土井若楠)